

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 山内
日 時	平成29年3月10日(金曜日)		開 議 閉 議	午前10時00分 午後 0時10分
出席委員	◎竹田 ○奥野 三上 田中 山本 小松 福井			
執行機関 出席者	藤村市長公室長、片山人事課長、山内ふるさと創生課長、 木村企画管理部長、田中企画調整課長、浦財政課長、小塩企画調整課副課長、 山本財政課副課長、 田中生涯学習部長、伊豆田市民力推進課長、中川人権啓発課長、三宅スポーツ推進課長、 林人権福祉センター館長、桂市民力推進課市民活動推進係長、安藤人権啓発課主幹、 大西総務部長、石田総務課長、森川自治防災課長、林税務課長、谷税務課担当課長、 伊津自治防災課主幹、竹村総務課副課長、山内自治防災課副課長、 吉田自治防災課消防係長、名倉総務課総務係長、 玉記会計管理室長、小栗財産管理課長、山口財産管理課管財係長、 山本教育部長、白波瀬教育部次長、吉村教育総務課長、土岐学校教育課長、 河原社会教育課長、中川教育総務課副課長、田中学校教育課副課長、 亀井社会教育課副課長			
事務局	門事務局長、山内事務局次長、船越副課長			
傍聴	可	市民 0名	報道関係者 1名	議員 0名

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

1 開議

2 事務局日程説明

1 0 : 0 5

3 議案審査

(議会事務局 入室 (移動))

1 0 : 0 5 ~

【議会事務局】

(1) 第55号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

議会事務局長 あいさつ
議会事務局次長 説明

《質疑》

<福井委員>

費用弁償の減額の中に、今年度4月から始めた交通費相当分の実費弁償も含まれているのか。

<事務局次長>

交通費相当分の実費弁償の減額も含んでおり、今後の執行見込額を考慮し、旅費全体で50万円の減額補正としている。
(質疑終了)

10:08

(議会事務局 退室(移動))

(市長公室 入室)

10:10～

【市長公室】

(1) 第55議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

市長公室長 あいさつ
各課長 説明

《質疑》

<福井委員>

予算説明書の給与費明細書により説明いただいたが、退職者が増えたことによる補正ということでしょうか。

<人事課長>

定年退職者については当初に見込んでいるが、定年に達しない段階で止むを得ず退職される普通退職者が出てきたことにより、今回、その分を見込んだものである。

<福井委員>

普通退職者は、例年の実績等により、当初予算に見込んでいないのか。

<人事課長>

退職者について、どれくらいの勤続年数の者が何人出てくるのかというのは、見込むのが難しく、例年、この時期の補正とさせていただいている。

<福井委員>

結果的に、給料の高い人が多く辞められるということでしょうか。

<人事課長>

毎年9月に、定年に達するまでの者に対して勧奨退職者を募集しているが、それ以外にも当然退職者が出てくる。

その分も含めて平均で約1700万円程度の退職手当の増額を見込んでいる。

<田中委員>

定年退職の17名以外で、勧奨退職と普通退職の内訳は。

<人事課長>

他会計の4名も含めて、合計34人の退職者の内訳は、

定年退職者	19名
勧奨による退職者	5名
普通退職者	9名
教育長	1名

となっている。

<小松委員>

P23、人事管理経費の減で、採用試験の内容が変更になったということだが、どのように変わったのか。

<人事課長>

従来は3次までの試験を設け、1次試験では教養試験を実施していたが、今回からは、一部において、この教養試験に変えてチャレンジ枠ということで、面接試験により人物重視の試験を実施する方法に変えたところである。

このことにより、教養試験を実施する人数、対象者が少なくなり、今回、その分を減額するものである。

なお、2次のプレゼンテーション試験、3次の理事者の面接については、従来どおりとなっている。

<小松委員>

古民家の利活用について、整備の中身はどうか。

<ふるさと創生課長>

ベットルームとキッチン、トイレ、お風呂は整備するが、食事の提供はしない素泊まりの宿といった形になる。

旅館業法の手続きはとる。

<福井委員>

今回、市長公室により古民家の整備をされるということだが、観光政策面、公共交通面での他部署との連携をどのように考えているか。

<ふるさと創生課長>

ふるさと創生課において整備を行うが、ゲストハウスの宿泊ということでは、観光客の利用も見込まれるので、観光戦略課とタイアップしてPRを行う予定であるし、公共交通の利用についてもPRしていきたい。

<福井委員>

市長公室は造って管理するだけか。

<ふるさと創生課長>

細かく言えば、事務はふるさと創生課が行うが、造るのは建築住宅課でやっていた。

運営についての委託は、ふるさと創生課で行う。

<市長公室長>

古民家を造って、委託管理をふるさと創生課でさせていただく。

観光客に泊まっていただくのは観光戦略課とタイアップし、亀岡市に移住を考えていただく方のお試し住宅ということでのPRはふるさと創生課でさせていただく。また、地域交流事業としての仕掛けも、他課とも連携しながら考えていきたい。

<田中委員>

古民家の関係で、4500万円の工事請負費が計上されているが、対象となる延べ床面積は。

<ふるさと創生課長>

現存の建物の延べ床面積は238㎡である。

なお、母屋は2階建てとなっている。

<奥野副委員長>

古民家の利活用計画の中の市移住相談事業の窓口はどこか。

<ふるさと創生課長>

ふるさと創生課が担当窓口となる。

<三上委員>

駐車スペースはあるのか。

<ふるさと創生課長>

車2台の駐車スペースを確保する計画である。
(質疑終了)

10:38

(市長公室 退室)

(企画管理部 入室)

10:40～

【企画管理部】

(1) 第55号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

企画管理部長	あいさつ
各課長	説明

《質疑》

<福井委員>

減収補てん債の詳細説明を願う。

<財政課長>

減収補てん債の対象となるのは、市民税法人税割額及び利子割交付金であり、元利償還金の75%が交付税措置される。

積算根拠は、市民税法人割額の調定見込額の減収に基づく見込額が4420万円、利子割交付金の交付見込額の減収見込額が1210万円で、合計5630万円の市債を発行するものである。

<田中委員>

P23で、行政改革推進委員会は何回開催されたのか。

<企画調整課長>

3回の開催であった。

<田中委員>

毎回、2～3人の欠席者があったということか。

<企画調整課長>

予算では4回の開催を見込んでいたが、3回の開催ということで、1回分の開催がなくなったことによる減額となっている。

(質疑終了)

10:50

(企画管理部 退室)

(生涯学習部 入室)

10:52～

【生涯学習部】

(1) 第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

生涯学習部長	あいさつ
各課長	説明

《質疑》

＜田中委員＞

P 6 5、生涯学習推進経費の57万2千円の減額で、減額理由が精算見込みによるということとなしに、委員会の開催が減ったのか、委員の欠席があったのか、そういう理由も述べていただきたい。

金額的には小さいが、わかりやすく丁寧な説明を願う。(要望)

(質疑終了)

11:05

(生涯学習部 退室)

(休憩)

11:05～11:15

(総務部 入室)

11:15～

【総務部】

(1) 第55号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

総務部長 あいさつ
各課長 説明

《質疑》

＜福井委員＞

P 2 5、コミュニティ推進経費の増で、これは財産区からの繰入れによって補助金を出すものであるが、当初予算に計上するのではなくて、その都度予算計上するようなものなのか。

＜自治防災課長＞

本来は、当初に事業計画に基づき予算措置するものであるが、今回の畑野町と山階区については、当初の段階で実施場所等が未定であったので、今回、補正予算で対応するものである。

＜福井委員＞

地元が言ってきたら、いくらでもやるというものではないということでしょうか。

＜自治防災課長＞

そのとおりである。

＜福井委員＞

P 5 9、消防団経費 報償費の減額について、退団する人が少なかったということか。

＜自治防災課主幹＞

当初の見込みでは59名の退団を予定していたが、実際は37名の退団であったことから、今回、その分を減額するものである。

＜田中委員＞

今の消防団経費 報償費の関係で、説明では平成27年度の退団者に係る減額という説明あったように思うが、退団の日付は3月31日でよいのか。

＜自治防災課主幹＞

退団の日付は、平成28年3月31日である。

＜田中委員＞

退団の手当を執行するのが平成28年度予算ということか。

<自治防災課主幹>

退団の手当等については、平成28年度当初予算に盛り込み、対応させてもらっている。

概ね7月、8月には退団者へ報償金を支払っている。

(質疑終了)

11:30

(総務部 退室)

(会計管理室 入室)

11:32～

【会計管理室】

**(1) 第64号議案～第73号議案 平成28年度亀岡市亀岡財産区特別会計補正予算
(第1号) 他9財産区特別会計補正予算**

会計管理室長 あいさつ
財産管理課長 説明

《質疑》

<福井委員>

基金利子があがっている所とあがっていない所があるのはなぜか。

<財産管理課長>

基金は財政課で一括運用管理を行っている。

基金利子は当初予算に一定計上しているが、その差額によって補正がある所とない所がある。

<田中委員>

篠財産区で、分収造林受託事業収入を約800万円減額し、歳出で分収造林事業山林作業委託料を700万円減額されているが、約100万円近くの差があるのはなぜか。

<財産管理課長>

当初予算で、歳入の方が90万円ほど多く計上されていたことによるものである。

<田中委員>

分収造林事業は今も行っているのか。

<財産管理課長>

篠財産区は、国立研究開発法人の森林総合研究所 森林整備センター 近畿北陸整備局と契約を結んでおり、契約上はまだ事業を継続している。

(質疑終了)

11:45

(会計管理室 退室)

(教育部 入室)

11:47～

【教育部】

(1) 第55号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

教育部長 あいさつ
各課長 説明

《質疑》

＜福井委員＞

P 6 5 で、放課後児童支援員報酬 6 4 5 万 6 千円を減額されているが、これは何人分か。

＜社会教育課長＞

平成 2 8 年度の当初予算では 4 9 人分の予算を見込んでいたが、実際は 4 4 人で 5 人の欠員が生じたため、止むを得ず当該金額を減額するものである。

＜山本委員＞

P 6 1 ・ 6 3 の生きる力を育む教育推進経費で、それぞれ対象校はどこか。

＜教育総務課長＞

小学校については、安詳、東別院、保津、つつじヶ丘小学校の 4 校である。

中学校については、亀岡、南桑、大成、東輝中学校の 4 校である。

＜小松委員＞

当該備品購入の内容は。

＜教育総務課長＞

次年度以降に、課題を持つ子どもが増加することに備えて、備品購入を行うものである。

＜田中委員＞

当該備品購入について、具体的に何を購入する予定なのか。

＜教育総務課長＞

主には教職員用の机、椅子、また視覚等の障害に応じた拡大鏡であったり、タブレット等の補助機器の購入である。

＜田中委員＞

P 6 5 、社会教育施設管理経費の七谷川野外活動センターの関係で、具体的にどのようなものを建設されるのか。

＜社会教育課長＞

年間約 1 万人に利用していただいている七谷川野外活動センターだが、設置後 3 0 年以上が経過し老朽化している。

今現在、宿泊ができない施設となっているので、まずはツリーハウスが宿泊できる態勢にしようということで、シャワールーム、洗面所などの増設や改修を行いたい。また、食事所、休憩所としてのあずまやを新設し、関連附帯設備の整備を行いたいと考えている。

＜田中委員＞

宿泊に係る許可だとか、法的なことはクリアしているのか。

＜社会教育課長＞

宿泊に係る旅館業法上の手続きについては、今回の整備と合わせて行っていく予定である。

(質疑終了)

1 2 : 0 5

(教育部 退室)

4 討論～採決

(委員間討議なし)

《討論》

なし

《採決》

＜竹田委員長＞

賛成者は挙手願う。

第55号議案（一般会計補正予算）

挙手全員

可決

第64号議案～第73号議案（亀岡財産区ほか9財産区特別会計補正予算）

挙手全員

可決

《指摘要望事項》

なし

＜竹田委員長＞

委員長報告については、正副委員長に一任願う。

次回、3月13日（月）の委員会で確認願う。

— 全員了 —

12：08

5 その他

（１）他都市先進地行政視察について

＜竹田委員長＞

他都市先進地行政視察については、次回以降で協議願うこととする。

（２）次回の日程について

＜竹田委員長＞

次回の日程については、3月13日（月）午前10時から委員長報告の確認、午後からは引続き付託議案の審査を行う。

散会 ～12：10